

第8回一関市総合計画審議会 会議録

1 会議名 平成27年度第8回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成27年11月17日(火) 午後6時30分から8時00分まで

3 開催場所 一関市役所議会棟議員全員協議会室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 24人

阿部新一委員、及川修三委員、及川忠委員、小山亜希子委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、坂本紀夫委員、佐藤芳郎委員、菅原行奈委員、菅原五三男委員、菅原勇委員、高橋雅弘委員、千田博委員、千葉博委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、徳谷喜久子委員(副会長)、永山克男委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、松岡千賀子委員、三浦幹夫委員、水谷みさえ委員

(欠席委員 3人)

小山麗子委員、木村静恵委員、原田哲委員

(2) 市出席者 5人

佐藤善仁市長公室長、千葉敏紀政策企画課長、藤島修政策企画課主幹、佐藤正幸政策企画課長補佐、菊地絵理子政策企画課主任主事

5 会長挨拶

前回の審議会では無事答申をすることができた。感謝申し上げる。また、審議会を通じたつながりが委員さんそれぞれの活動で生かされていることを感じる。

6 議題 (1) 総合計画前期基本計画の策定について

総合計画前期基本計画比較表【資料No.28】

主な指標一覧表【資料No.29】

市民の参画一覧表【資料No.30】

総合計画審議会委員からの意見への対応について【資料No.31】

7 審議

(1) 総合計画前期基本計画の策定について

総合計画前期基本計画比較表【資料No.28】

主な指標一覧表【資料No.29】

市民の参画一覧表【資料No.30】

総合計画審議会委員からの意見への対応について【資料No.31】
事務局から資料の説明を行い、質疑・意見を求めた。

○ 主な指標一覧表【資料No.29】について

【質疑・意見等】

① 審議会委員意見

No.37、国際交流団体の連携組織数であるが、市内には今国際交流団体が何団体あるのか。また、市内の団体の連携組織、協議会を組織することを目指すものか。国際交流については、連絡組織をつくってまとめることだけではなく、各組織で組織している団体の支援を行っていくことが大切だと思う。

・ 事務局

何団体あるのかであるが、合併前の地域ごとの組織であり、活動内容も一様ではなく、8地域全てで組織されてはいないと記憶している。指標は、全地域を網羅する組織をつくるというイメージである。

② 審議会委員意見

⑦目標設定の考え方についてであるが、中には目標設定の考え方の説明にはなっていないものもある。単純に目標値そのものを掲げているものについて、その記載であれば意味がないと思う。

・ 事務局

目標設定の考え方という項目名について検討するほか、記載について修正する。

③ 審議会委員意見

No.64 とNo.65 について、現状把握の方法について、全国学力・学習状況調査となっているが、この調査にはこの指標項目の内容の項目があるのか。

・ 事務局

この指標項目そのままの項目ではないが、指標項目を把握することができる調査項目がある。

④ 審議会委員意見

No.105、児童発達支援サービスの利用者数について、目標値は利用者数を増やすこととなっているが、本当は発達支援を受ける利用者を減らすことではないか。

・ 事務局

児童発達支援サービスを利用してもらうことにより、支援が必要となる児童について改善することを目指している。

⑤ 審議会委員意見

No.95、汚水処理人口普及率について、合併浄化槽等を設置するところは入らないの

か。

- ・ 事務局

公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の市町村設置型、個人設置型全てを入れた数値である。

⑥ 審議会委員意見

No.37、国際交流団体の連携組織数であるが、設立を目指している連携組織と現在ある国際交流協会との役割の違いは何か。また、連携組織をつくるのが数値指標となるか疑問である。

⑦ 審議会委員意見

No.60、放課後児童クラブ利用者数について、目標値が低すぎるのではないか。現状6年生まで入れるようになってきているが、実際には、利用を断られている児童もいるようだ。この目標値は希望している児童が全て利用することができる数値なのか。

⑧ 審議会委員意見

No.107、障がい者福祉サービス（日中活動系）の利用者数について、指標の説明に「障がい者の地域支援を示す指標」とあるが、どのような意味か。

- ・ 事務局

指標の説明欄について、「障がい者への地域支援を示す指標」に修正する。

⑨ 審議会委員意見

No.53、いちのせき結婚活動サポートセンターの会員登録数について、目標値が500人とあるが、この数値は増えてよいのか。結婚していない人が増えるとも解釈できる。

- ・ 事務局

未婚の方が大勢いる中で、登録をしてもらい、出会いの場を増やしていただくことにより結婚に結びつけてもらうものである。

⑩ 審議会委員意見

No.17、（公財）岩手県南技術研究センター試験分析件数について、指標の説明に、「高い品質を求める姿勢の高まりを読みとる指標」とあるが、高まりを読みとるにも関わらず、目標設定の考え方が「毎年、同程度の試験分析を目指す」としているのは矛盾していると思う。

- ・ 事務局

指標の説明について検討する。

- ・ 会長

目標設定の考え方について、目標値そのままを目指すものについては無理に記載する必要がないのではないか。

⑪ 審議会委員意見

目標設定の考え方について、どうしてこのような考え方になったのかという根拠が必要であると思う。

⑫ 審議会委員意見

指標項目によって、累計を示す内容と単年度当たりを示す内容が混在しておりわかりにくい。

○ 市民の参画一覧表【資料No.30】、【資料No.30】（追加）について

【質疑・意見等】

⑬ 審議会委員意見

追加配付資料のNo.33 について、「起業者の活動に対し理解を深め、起業した店（ショップ）を利用しましょう」とあるが、市民はどの店が起業による店舗なのかわからないと思う。

⑭ 審議会委員意見

追加配付資料のNo.23 について、検定受検とあるが、技能検定のことだと思うが、技能検定と資格試験とは異なる。資格試験については追加しなくてよいか。

⑮ 審議会委員意見

No.118 を（２）低炭素社会のシステムづくりの項目とし、No.121 を（１）地球環境にやさしいまちづくりの推進の項目としてはどうか。

⑯ 審議会委員意見

No.69、自分みがき講座とあるが、このような講座はあるのか。自己啓発という意味であれば、そのような表現としてはどうか。

・ 事務局

この標題の講座はないので表現を検討する。

午後 8 時 00 分 閉会

8 公開、非公開の別 公開

9 傍聴者の数 0 人

10 担当課 市長公室政策企画課